

2011/12/21  
第 32 号  
(23 年 12 月号)

# しののめ



長野県総合教育センター通信

〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4  
TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

小中高に共通する学級づくりの基本

企画開発部長兼教科教育部長 高野 正延

次の言葉は、高校初任者の感想です。

「A高校のM先生の話聞いて、放課後に自分のクラスの教室に行ってみるとよく分かるというのは、本当にそうだなあと思いました。毎日教室の整理整頓をしている先生もいます。自分も努力できる担任になりたいです。」

この感想は、高校初任研で、先輩の先生から「学級づくり」に関する実践発表を聞いた時のアンケートの中にありました。

私は義務教育の人間で、失礼ながら、高校の先生方が放課後の教室を確認している状況について把握していませんでした。というのも、子どもたちが帰った後、机の列を揃え、机やロッカーの中を点検するなど、特に小学校低学年の担任の基本であるからです。それを、高校でも、学級づくりができていると言われるような先生の中には、きちんと行っている方もいる。そのことは驚きであり、同時に納得のいくことでもありました。

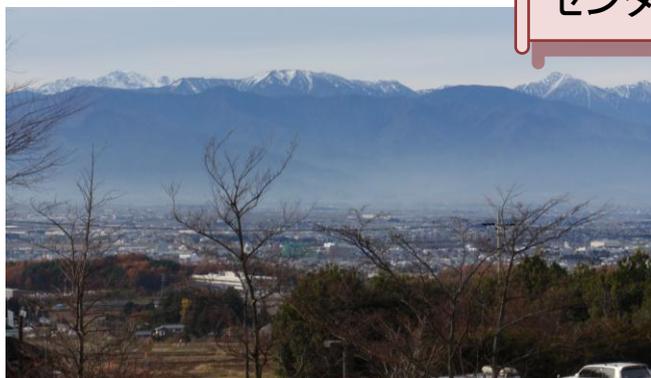
子どもたちが去った放課後の教室には、まだ子どもたちの会話の余韻や温もりが残っています。そんな教室に身を置くことは、一日の学校生活を見とどけ、子どもを知ることもつながります。机の列が曲がっていれば並びを直し、ゴミが落ちていれば拾う。こんな当たり前のことを行い、明日の授業に備えます。

この初任者の感想から、校種によるそれぞれの特性はあるにしても、学級づくりの基本は、案外と小中高共通しているのではないかと思います。教師の姿勢として大切なことは、校種を越えて大切なのだと思います。

ちなみに、ただいま総合教育センターでは「信州 Basic～授業づくりのポイント～」を作成中です。ここには、授業づくりの基礎・基本を簡潔に示します。研修講座等で活用するとともに、ホームページ等でも紹介する予定です。ご期待下さい。



## センター12月の風景



センターから穂高連峰・常念岳を望む（12月初旬撮影）

多目的ホールに飾られたクリスマスツリー  
(教育相談に来た子どもたちが作ってくれました)



# 研修講座探訪

11月・12月に行われた希望研修講座を紹介します

## 【英語力・授業カススキルアップ講座】12月1日(木)～2日(金)実施 (15名受講)

<講座の内容>

受講者全員が模擬授業をビデオ撮影し、自分の授業を振り返りました。改善策を考え、国際基督教大学の渡辺敦子先生にご指導いただきました。

【1日目】

- ① 講義「学習指導要領のねらいと英語で授業を行う際の留意点」
- ② 演習「模擬授業」

\* 指導案作成，教材準備，模擬授業のビデオ撮影をしました。

【2日目】

- ③ 講義と演習「All English 授業の実践を通して」

\* 模擬授業を個人，グループで分析し，改善策を提案しました。

<受講者の感想から>

- All English の授業は，15 分間でも大変だなあと感じました。でも挑戦してみれば何とかなると実感できました。参加された先生方のやり方やアイデアがとても参考になりました。



模擬授業を撮影



模擬授業の分析

## 【刃物づくりから学ぶ金属の特性】 12月1日(木)実施 (14名受講)

<講座の内容>

刃物職人の滝沢照吾さんを講師にお迎えして開講しました。

- ① 講義「刃物の材料に関する知識」
- ② 実習「作品の製作」  
【成形→熱処理→ハンドル加工→ヒルト製作→刃研ぎ】

- ③ 講義「教育課程・学習指導の改善」

<受講者の感想から>

- 刃の焼き入れの専門家の指導を受けることができ，ものづくりの指導に少しずつ自信を持つことができた。
- 加工の単元の幅が広がった。特に加熱，焼き入れ，焼き戻しについて，金属の特性に触れながら体験できたことが嬉しかった。
- 課題研究の一步としてこの教材を取り上げてさらに発展させていきたい。
- 今まで知識だけだった事柄について，実習を通して実物との結びつきをはっきりすることができた。



加熱



焼き入れ



作品例

# 研修講座探訪

## 【組換え実験から学ぶ食の安全】 11月17日(木)～18日(金)実施 (6名受講)

11月17日～18日の二日間、「組換え実験から学ぶ食の安全」講座が開講されました。長野県農業大学校の丸田一成教授を講師にお迎えし、遺伝子組換え技術についての正しい理解と生徒にDNAを分かりやすく教えるための実験について講義と実習を行いました。もともとは農業科の先生方を対象とした講座でしたが、近年は遺伝子組換え農産物や食品の安全について問題視されることが多いためか、理科や家庭科、養護の先生方の参加が目立つようになりました。実験キットを用いて、学校においても比較的容易に行うことのできる二つの実験を通して、遺伝子組換えに関する正しい知識を得ることができ、また、丸田先生の講義の中で長野県における農産物育種の現状と課題や、GM（組換え）農産物の問題点についてまで触れていただくことにより、課題を正しく認識していただくことができました。

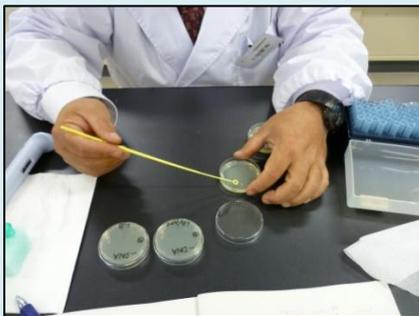


実験1 pGLOバクテリア遺伝子組換え実験



講座の最後では研究協議が行われ授業での導入方法や組換え技術に関して質問や意見が活発に出されました。

実験2 DNA Fingerprinting



### ＜受講者の感想＞

- 今回の内容を授業で実施してみたいと思います。
- 経験したことのある実験については再認識することが多く初めての実験については大変興味深かった。
- 実験は理解しやすく、楽しめる内容でした。
- 組換え食品についての基礎知識が得られた。今後食の安全について授業で生かしたいと思います。

## 今からでも間に合う研修講座(1月～2月開講の講座) 12月16日現在

分野	講座番号	講座名	対象	日程	募集人数
教科等	3-1-07-04	中学校・高校音楽基礎Ⅱ	中高特	1/24	2
	3-1-08-04	小学校高学年 図画工作基礎B	小中特	1/12	3
	3-1-09-28	幼児とのふれ合いと家族	中高特	1/26	8
	3-1-10-02	中学校技術基礎(情報・電気)	中特	1/24	2
産業教育	3-4-22-22	射出成形技術と金型	高(工)	1/19～20	2
	3-4-30-22	産業教育教材研究と指導法	職業学科	2/17	26

追加募集は10日前まで受け付けています。HPで確認して電子申請で申込みをお願いします。

## —— 研修講座を振り返って ——

### 教職教育部が 11、12 月に実施した研修講座から 3 講座を振り返ります

#### ◇高等学校初任者研修「生徒指導研修Ⅲ」

11月29日(火)に高等学校初任者研修「生徒指導研修Ⅲ」が行われました。午前中の、田川高等学校飯森和弘教諭による講義「高校における生徒指導の現状」では、ご自身が経験された事例に即しながら、問題行動の発生を想定した「危機管理マニュアル」の必要性や、生徒情報の共有化の具体的な取組、「ホウレンソウ」(報告、連絡、相談)の大切さなどについてお話がありました。

午後は、兵庫教育大学新井肇教授による「生徒指導とカウンセリング」の講義と演習が行われました。前半は、「生徒指導提要」に基づいたこれからの生徒指導の方向性や、生徒指導と学校カウンセリング(教育相談)の関係、生徒指導の意義や内容について講義されました。後半では、「カウンセリングを活かした生徒指導の理論と実践(入門編)」と題して、カウンセリングマインドやコミュニケーションの在り方について、演習を交えながらお話がありました。初任者にとって、学校に帰ってすぐに活用できる、実際的な内容の研修となりました。

#### <受講者の感想から>

- ・ 自分だけで抱えず、担任の先生や教科担任の先生と協力し、情報を共有しながら指導していきたいと思う。
- ・ 普段から「もしも」のときの行動を考えておく必要があると感じた。
- ・ 「いけないことをなぜしたのか」とか「それをすると他の人にどう影響するのか」と生徒に問いかけることの重要性に気づきました。
- ・ 新井先生がおっしゃっていた「ないものねだりではなくあるもの探し」という言葉を意識して生徒に寄りそう指導をしたい。



演習の指導をされる新井肇先生

#### ◇高校 10 年経験者研修「地域研修D」

11月22日(火)に高校10年経験者研修「地域研修D」が国際協力機構駒ヶ根青年海外協力隊訓練所(以下JICA駒ヶ根)にて行われました。本講座のテーマは「相手の立場に立つー国際協力教育へのアプローチ」でした。そこで、初めに「国際協力講座」と題して、JICA駒ヶ根の塩澤真洋市民参加協力調整員が、JICAの紹介とJICA駒ヶ根で行う65日間に及ぶJICAボランティア派遣前訓練など信州の国際協力の最前線について講義されました。引き続いて、長野県松本筑摩高等学校の駒村英明教諭によるエクアドルでの現職参加教員体験談がありました。エクアドルの教育事情から「人とのつながりを大事にする」国柄が分かり、日本の教育にも生かしたい指導観を学びました。昼食後、訓練所内を巡り、フランス語、英語、シンハラ語の訓練の様子を見学しました。英語で(算数)模擬授業を行う語学訓練を見学しました。午後の実践発表では、長野県小諸商業高等学校の森山俊一教諭によるブラジルでの教師海外研修体験談がありました。「現地に入ってみないとわからないことがいっぱいある。」と現地の様子から日本移民史に至るまで幅広く国際理解について発表いただきました。続いて「国際理解教育に関する授業実践とワークショップ」と題して、長野県飯田長姫高等学校の田邊紗也子教諭による参加型ワークショップを交えた実践発表がありました。

身近なケータイを題材にさまざまなワークショップが進められ、ケータイに使われるレアメタル争奪戦の末、幼い子どもたちも犠牲者になっている事実を提示され、参加型授業の効果を実感しながら、相手の立場に立って考える手法に「参加型授業」が有効であることを理解した演習でした。

### <受講者の感想から>

- ・ JICA の研修は今後も継続してもらいたい。長野県にある利点を生かして国際理解教育はどんどん進めるべきだ。海外という視野を全教員が持つべきだと思う。
- ・ 「生徒の心に火をつける」という言葉が印象的でした。生徒の心に火をつけるような授業やホームルームを実践していきたい。
- ・ 国際理解を教員自身が進めることがまず必要。そして、ただ「世界はこうなんだ」と教え込むだけでなく、「参加型」の授業も取り入れながら、国際理解について考える機会を増やすことが必要だと思った。



「参加型」ワークショップ

## ◇教育課題別研修「男女共同参画と学校組織マネジメント」

～職員一人一人が力を発揮できる学校組織づくり～ 12月1日(木)実施 (受講者32名)

本講座では、経験年数や性別を問わず、全職員で協働し、力を発揮できる職場づくりについて研修を行いました。まず、花岡ひさ江先生から、長野県の女性教員や女性管理職の歩みについてお話しいただきました。新聞記事、年表などの資料やご自身の体験談は、受講した先生方が、自身の体験や現在の状況と重ね合わせられる部分も多く、共感しながら学ぶことができました。

午後は、黒川雅子先生の講義により、男女共同参画社会を目指す背景、ワーク・ライフ・バランス等について、全国レベルでの現状を学びました。ご自身の、現在の子育てのエピソードも交えたお話で、

民間や私学の状況も知ることができ、有意義な時間となりました。後半は性別、経験年数、校種混合の班でグループディスカッションを行いました。本音で語り合い、様々な視点から情報交換をすることができ、充実した時間となりました。



黒川雅子先生の講義



グループディスカッション

### <講座の内容>

- ① 講義「男女共同参画社会の視点から見た長野県教育の現状と課題～現在、過去そして未来へ～」  
講師 岡谷市立岡谷小学校 校長 花岡 ひさ江
- ② 講義・演習「職員一人一人が力を発揮できる学校組織づくり」  
講師 東京女学館大学 准教授 黒川 雅子

### <受講者の感想から>

- 女性管理職の道を切りひらいた先輩方の努力や、それを支えた周囲の人々の姿を知ることができました。男女を問わず教師としての資質を高め、児童生徒や後輩の憧れの存在となれるよう、自己研鑽に努めたい。
- 職員間で互いの現状を理解し、フォローし合って仕事を分担することが大切だと学んだ。性差を理解し、それぞれの利点を活用しながら、男女や年齢等の差を支え合い、学校運営に関わっていききたい。

# 生徒研究発表会

12月17日（土）総合教育センターを会場に、県下の専門高校・総合学科高校26校から215名の生徒、関係者の参加のもと、第8回生徒研究発表会が行われました。この発表会は、日頃の学習成果を発表することにより、表現力やコミュニケーション能力の向上を図り、学校・学科の枠を超えた学びや交流を通して、学習意欲を喚起することを目的に毎年開かれているものです。

講堂のステージ発表では、農業・工業・商業・家庭・福祉の各分野で18団体が学習成果を発表し、交流会では22団体が作品展示・実演・販売実習等を行いました。生徒は、自身の学習分野の内容を深め、異なる専門高校や総合学科の学習活動からも良い刺激を受けていました。生徒による司会進行も好評でした。また、回を重ねる毎にプレゼンテーション力も向上しています。一方、こうした専門高校の活動の様子を、多くの中学生やその保護者、学校関係者の皆さんに見て欲しいという要望も寄せられました。参加者および関係の皆様、ありがとうございました。

来賓祝辞



ステージ発表



作品展示・実演・販売



## 平成23年度 生徒研究発表会発表内容

	学校名	発表形態	発表テーマ実施内容
農業	下高井農林	ステージ	高齢者との交流を通じた園芸福祉活動
農業	須坂園芸	ステージ	「目指せ！耕作放棄地の再生～小麦がなくなると地域の輪～」
農業	更級農業	ステージ	河川の水質に人間生活が与える影響-犀川、千曲川、裾花川の水質調査からわかること-
農業	富士見	ステージ	富士見ミツバチタウン大作戦 ～人とミツバチと自然にやさしいまちづくり～
農業	上伊那農業	ステージ	上農雑穀 笑顔プロジェクト
農業	エクセラシオン	ステージ	薄川調査結果および駆除活動
工業	岩村田	ステージ	災害救援ロボットの研究
工業	臼田	ステージ	法隆寺五重塔 木製建築模型の制作
工業	岡谷工業	ステージ	LEDディスプレイ商品化プロジェクトの報告
工業	駒ヶ根工業	ステージ	粒子加速器の研究報告 ～SPPへの取り組み～
工業	松本工業	ステージ	機構設計の研究・制作 3D-CADPRODUCT DESIGN CONTEST参加報告
工業	池田工業	ステージ	公開講座「おもしろ電気じゅく」の取組
商業	長野商業	ステージ	商業に学び、地域・全国・世界へ発信
商業	小諸商業	ステージ	小・高連携 ”小等惚”（コラボ）
商業	飯田長姫	ステージ	リヤカー商店開業！～買い物弱者問題を考える～
家庭	丸子修学館	ステージ	ドレスの種類と特徴について
福祉	上田千曲	ステージ	福祉施設現場実習を体験して学んだこと
福祉	中野立志館	ステージ	ルーシーダットン（ヨガによる心のケア）
農業	須坂園芸	作品展示	生徒作品（ワイン、作物の研究成果、園芸塾、全国造園デザインコンクール、アイデアコンペなど）
農業	上伊那農業	作品展示	フラワーアレンジメント
農業	上伊那農業	作品展示	雑穀について
農業	下伊那農業	作品展示	「下農でうまれた色たち」
農業	エクセラシオン	作品展示	薄川の外来種・外来種駆除活動について 廃油ロウソクや再生チョコク
農業	エクセラシオン	実演（展示）	廃油から石鹸作り・間伐材利用のマルミ作り・新聞紙エコバッグ作り、再生チョコク試し書き
工業	長野工業	作品展示	情報技術科代表者2名の課題研究
工業	長野工業	作品展示	H22年度 課題研究の取組紹介
工業	長野工業	ポスターセッション	電気科の紹介
工業	岩村田	作品展示	災害救援ロボットの研究
工業	岩村田	作品展示	CNC旋盤を使ったチェス駒製作
工業	岩村田	作品展示	太陽光発電システムの制作
工業	臼田	販売実習	軽井沢彫小物・手作り石鹸販売
工業	岡谷工業	作品展示	機械科 課題研究作品
工業	岡谷工業	ポスターセッション	課題研究「めっき化学」の実習報告
工業	岡谷工業	実演	ミニCNCの実演、名刺入れ（創立100周年記念品）の展示、浄水器の展示（予定）
工業	駒ヶ根工業	作品展示	プラズマ発生実験装置
工業	駒ヶ根工業	作品展示	「Ruby言語」によるプログラミング
工業	松本工業	作品展示	機構設計の研究・制作 3D-CADPRODUCT DESIGN CONTEST参加報告
工業	池田工業	作品展示	WRO-J予選会参加報告
工業	飯田工業	作品展示	水槽に浮かぶ「泡」文字～バブリーメッセージ～
工業	飯田工業	作品展示	エコバイクの充電スタンドと制御コントローラ製作～地元企業と連携して～
工業	東京都市大塩尻	作品展示	エコランカーの展示
工業	東京都市大塩尻	作品展示	生徒CG作品の展示
商業	須坂商業	ポスターセッション	須商マーケットにおけるリニューアルオープンについて
商業	長野商業	販売実習	開発商品の販売
商業	小諸商業	作品展示	小・高連携 ”小等惚”（コラボ）内容報告
商業	塩尻志学館	販売実習	カステラを中心としたワイン関連商品の販売
商業	諏訪実業	販売実習	オリジナル商品：諏訪の四季（サフレの販売）
商業	辰野	販売実習	地域を元気にする商品開発 Part 2 松本大学コラボ開発商品販売
商業	飯田長姫	作品展示	リヤカー商店開業！～買い物弱者問題を考える～ 内容報告展示
工・農・家庭	上田千曲	作品展示	上田千曲高校専門科・全7科の紹介
総合	中野立志館	実演	ストップモーションアニメーション
総合	中野立志館	作品展示	川柳作品展示